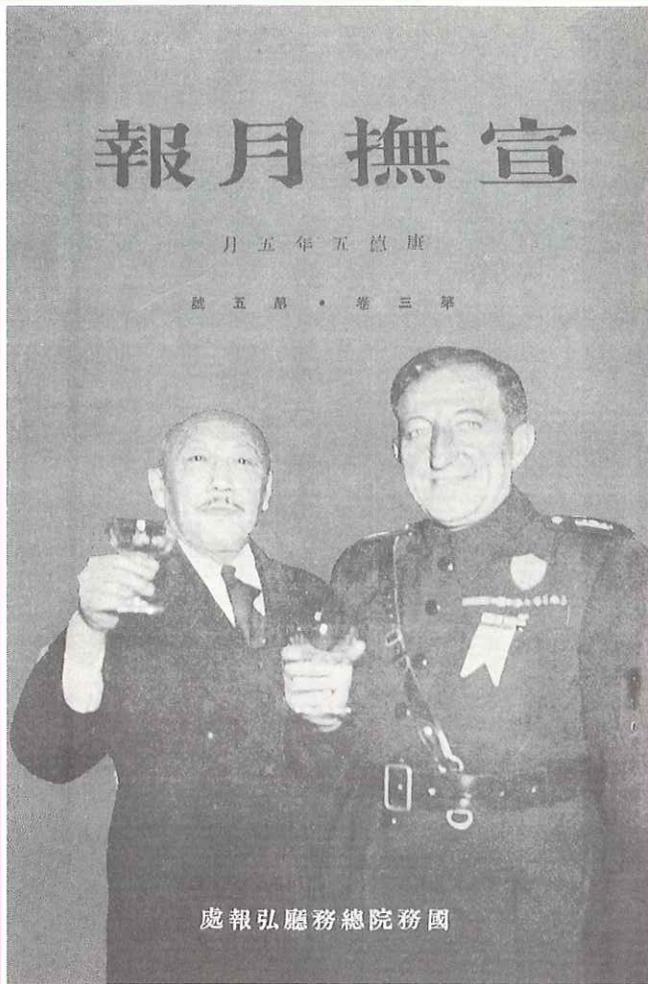
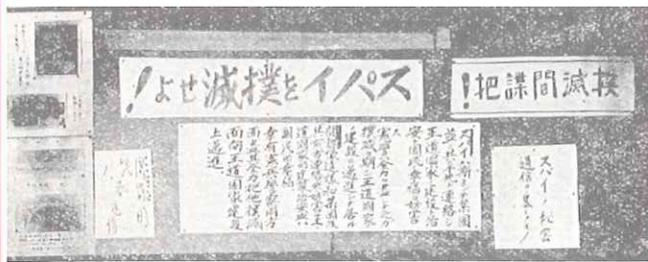


十五年戦争極秘資料集



第3卷第5号(1938年5月)表紙



第4卷第3号(1939年)より

補卷25

宣撫月報

全8冊・別冊1

山本武利 解説 本体価格

各冊18,000円＋税
別冊のみ1,000円＋税

★宣伝戦の最前線Ⅱ「満洲国」で、内部資料として発行されていた

プロパガンダ誌を復刻。戦時宣伝活動の具体的状況を知る重要資料！



不二出版

「宣撫月報」は一九三六(康徳3)年七月、満洲国の中央宣撫小委員会から発行された、満洲国の宣伝担当職員に配布された無料の政府刊行物である。

非売品であったため、政府部内の活動や本音の話題等がかなり率直に掲載され、各地方からの宣撫・広報実績報告等の宣伝資料の類が充実している点に資料的価値があるといえる。

発刊当初は少数の編集部員が執筆していたが、号を重ねる毎に満洲国政府やメディア関係者、さらには本土の論客などが寄稿するようになった。

弊社では、すでに「情報局関係極秘資料」全8巻を復刻刊行し、内閣情報局の刊行物・極秘資料を公開した。今回の「宣撫月報」は、満洲国の情報担当者が作成したものであり、特にドイツナチスの「情報戦」の研究成果を多く見ることができ

る。弊社では現在国内において入手可能な原本を、4面付に編集復刻し、近代史・メディア史研究の重要資料として刊行する。——不二出版

宣撫月報

九月(放送特輯)號

第四卷・第八號 目次

Table with 2 columns: Section (e.g., 口繪, 論説及研究, 調査及資料) and Author/Editor (e.g., 田 稻, 河野 治, 須佐美芳男).

蔣政權の文化・宣傳政策

立教大學教授 小山 榮 三

國家統一の實質的内容

蔣政權は三民主義を國家原理として或立した政府であるが、その國家統一の實質的内容をなしたものは對外的には「抗日救亡」であり、對内的には「新生活運動」であつた。中國々民黨抗戰建國綱領は三民主義と總理遺教に基き一般の抗戰行動及び建國の最高準繩を確定し、全國の抗

宣撫月報

通卷第六四號

國家宣傳學概論(三) 聯邦產業五年計畫(二)

卷頭言……詳 衆 新聞社法・國通社法と出版法との關係に就て 宣傳素材覺え書 ポスターの效果的作成とその利用 庫倫旗公署の時局宣傳實施概況 英國の時局ラジオ統制

國務院總務廳弘報處

群衆

一目見たとき好きになつて、早速結婚を申込み。これは心理學上の衝動行爲であつて、隨意行爲や選擇行爲と區別されてゐる。群衆は衝動的な心理の持主である。従つて群衆心理といふものは、個人の心理と全然異なつた不思議な心理が忽然と現れたものでないことがわかる。即ち個人は誰でも、一目見たとき好きになることがあるのである。群衆は必ずしも献身的、犠牲的ではなく、個人に劣らず自己を主張し、また自己に有利な方向をとらうとする。群衆は責任感に乏しい。群衆を構成する個人は、自己には殆ど責任なく、他の者達にこそ一切の責任があるのだと思つてゐるからである。群衆は感情が強烈である。その結果は輕暴盲動し、殘忍鬼畜の如くにもなるが、轉ずれば即ち温ること半の如く、和なること佛の如くにもなる。群衆の智能は低い。思考は粗雑であり、簡單である。平素は粗悪な頭の持主だといはれてゐる者でも、一たん演壇に立つた場合、その強い感情と太い聲と大ざつばな態度の故に、群衆にうけ入れられることのあるのは、このためである。群衆は合理的に反對することもあれば、不合理に服従することもある。指導者は、かゝる群衆の動向をよくのみこみ、先づ群衆と同じ立場に自分を置きその心理に投じつゝ、次第にこれをひきはさすやうに心がければならない。

國家宣傳學概論(三)

弘報處長 武 藤 富 男

第一章 宣傳實體論—建國精神の解明(前號續き)

この前は建國精神に關する正統なる説明を申し上げましたが私共宣傳者が建國精神を國民に説くに當つては、自ら確乎たる信念を持たなければならぬ。燃えるが如き信念を持たなければならぬ。そこで更に建國精神をもつと突つ込んで考へる様になる。茲に個人の解釋を生れて来るのであります。こゝにおいて私は武藤個人として如何に建國精神を、更に延ては日本精神を解してゐるか云ふことを申し上げます。これは滿洲國として正統に受容せられたところの意見ではありません。全く私個人の意見でありまして、皆さんが建國精神を體得せらるゝよすがとして或は參考として申上げる次第であります。國家の指導精神の内裏には必ず宗教或は哲學があります。第一は宇宙全體をどう云ふやうに見るか神を如何に視するか、即ち宇宙觀、神觀の問題であります。第二は、人間をどう云ふやうに見るか、人間とは何であるか、人間觀の問題であります。この二つの問題が解決しますと、茲に國家とは何であるかと云ふことが決つて来る。又私共は國家を造り、その國家の中に於てどう云ふ社會を作つて行くかと云ふ問題が起る。これは國家觀、社會觀であります。近頃流行の世界觀と云ふ言葉は要するに斯う云ふものを引つくるめだ意味に使つて居るのであります。この世界觀の世

本文組見本(80%縮小してあります)

第64号(一九四二年一月)より

「満洲国」統治下の「情報」の役割を知る極秘資料

荻野 富士夫(小樽商科大学教授)

日本国内の政府中枢の情報機構が一九三六年七月の情報委員会設置にはじまるのに比べ、「満洲国」では「建国」後まもなく、宣伝・宣撫工作を一元的に指揮する「弘報処」(のち、中央治安維持会)の下の中央宣撫小委員会)が発足した。反満抗日運動の取締と鎮圧が最大の課題であり、軍事力・警察力を補完するものとして「宣撫」戦思想戦が重視されたからである。一九三六年七月、「宣撫戦士」の武器として「宣撫月報」が発刊された。ほぼ前半の「宣撫月報」は、第二巻第七号(一九三七年七月)が「東道復興工作」を特集とするように、各省レベルの具体的な「弘報宣伝実施工作」「行政浸透工作」「特別治安工作」などが詳細に記述される。ここでは、映画・放送・紙芝居などがいかに動員されたか紹介される。

本復刻版を精読することにより、「満洲国」統治の仕組みがより明らかになるであろう。また、日本国内や朝鮮・台湾、さらに傀儡国家における情報機構・施策・機能との比較を通じて、「東亜新秩序」「大東亜新秩序」と対になる治安体制の一翼としての「情報」の役割を見出せよう。

「宣伝」広報」研究のパラダイム

佐藤卓己(京大教育学部助教授)

「宣撫月報」の復刻は、わが国の戦時宣伝研究に新しい地平を開くことになるだろう。宣伝活動、特に戦時における宣撫工作は、「外部」や「外国」を意識して行なわれるのが普通である。しかし、我が国における宣伝戦思想戦の研究は、これまで主に国内情報機関の資料を使ってすすめられてきた。その結果、国内的な視点から対外宣伝の限界性が指摘され、言論統制の分析に力点が置かれてきた。宣伝戦の「前線」における体系的資料が乏しかったためである。

一方、ソ連邦と国境を接し内部に反日武装ゲリラを抱えた「満洲国」は宣伝戦の最前線である。満洲における宣伝の必要性は、内地とは比較を絶して大きかった。「宣撫月報」目次を一瞥しただけでも、同時期に内閣情報部情報局が編集した諸資料に比べて、「外部」への実用を強く意識していることは明らかである。この復刻によって、対外宣伝の具体的実践状況の分析が可能となる。

もちろん、宣伝理論に関しても「宣撫月報」は興味深い論文を数多く掲載している。その一つは、戦時日本の宣伝研究をリードした小山栄三の「蔣政権の文化宣伝政策」(第四巻第八号)である。小山は戦後も国立世論調査所所長、日本世論調査協会会長、日本広報協会理事長など歴任しているが、彼の研究対象である「戦中」のプロパガンダと「戦後」のマス・コミュニケーションはまさに同一物であった。現在のメディア研究もまた、そうした総力戦パラダイムの延長線上にある。私たちは「宣撫月報」から、過去の宣伝戦の記録だけでなく、いまに至る情報戦争の来歴を読み取ることになるであろう。

「満洲国」文学・芸術研究にとっても見逃せない雑誌

西田 勝(文芸評論家・植民地文化研究会代表)

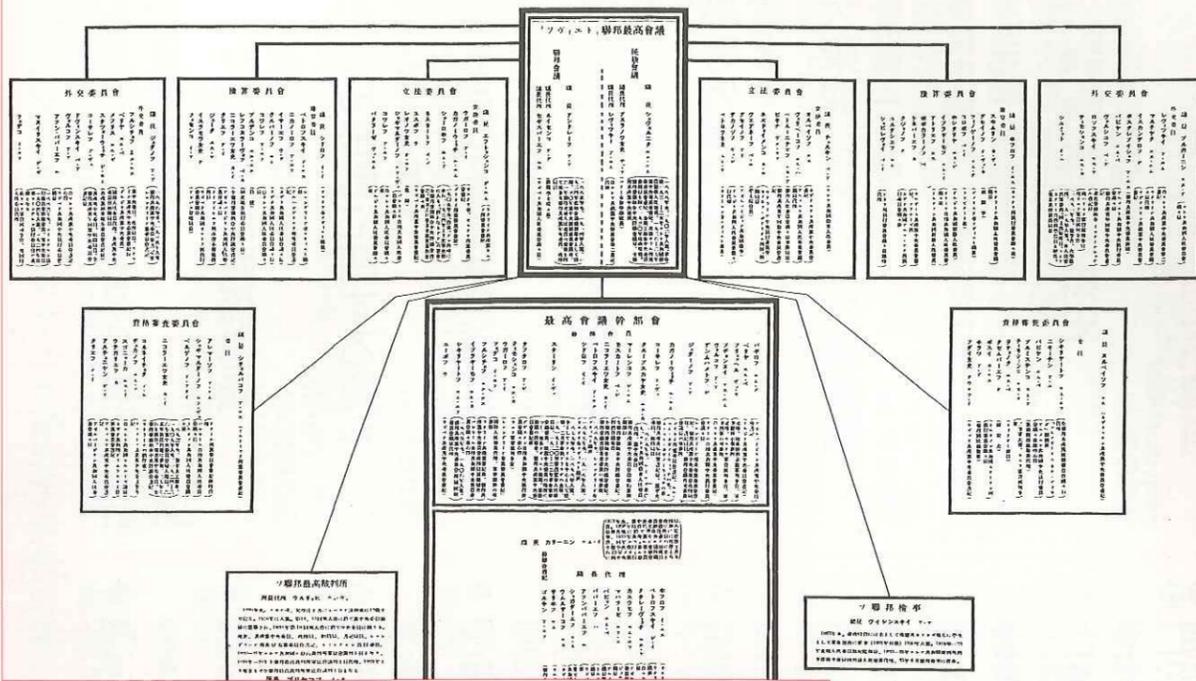
「宣撫月報」は創刊号(三六年七月)掲載の「創刊の辞」によると、特に「治安工作」の必要から出されたもので、具体的には「宣撫能率の向上を計ること」、「各級宣撫機関の連絡を緊密ならしむること」、「各地の宣撫状況を知らしめること」などを目標にしていたようだが、5巻4号(四〇年四月)からは、大体の治安が確保されたとして何よりも「思想戦、宣伝戦の機関誌」、さらには「宣伝学の研究雑誌」でなければならぬといわれた(同号の巻頭言「宣撫月報の方向転換」)。そして実際、そのように編集されている。

当然ながら非売品で、政府の「各級宣撫機関」に配布されたようだが、途中から秘扱いとなっている。それだけに、「満洲国」政府が実際どのように各民族民衆を支配し、統治しようとしていたのか、その考え方や手口をつぶさに辿ることができる。そういう意味では、本復刻版は「満洲国」での統治の施策の実際を知る上での一級資料といえるだろう。

映画や漫画や演劇や放送、そして文学も「宣撫工作」に与っての有効な手段としてとらえられ、ナチス・ドイツやファッショ・イタリアはもとより、敵方のソ連や国民党政府、英米仏の情報や経験も比較的に紹介されている。青木実や大内隆雄、仲賢礼(木崎竜)や長谷川瀆、今村栄治や藤川研一、さらには島木健作らも執筆していて、この面——文学や演劇の面からも見逃せない雑誌になっている。

ソ連邦最高権力機関職員表

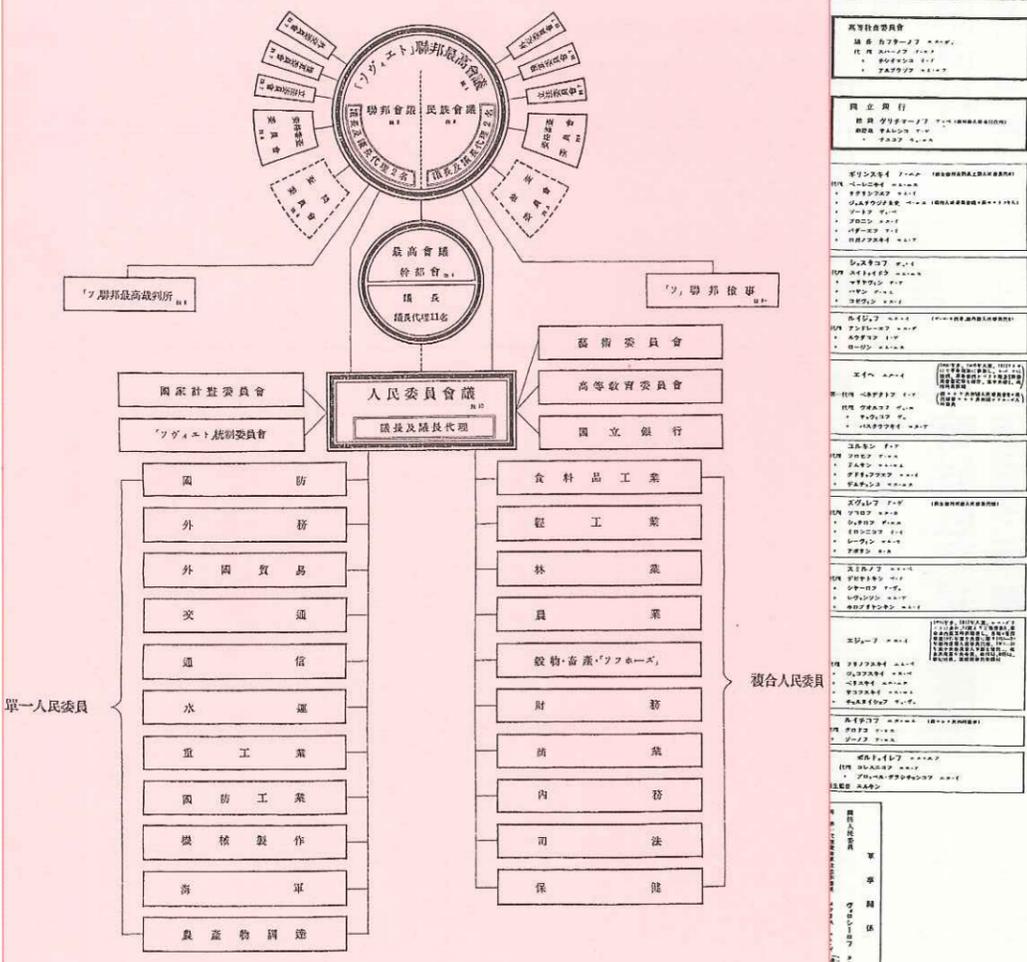
(一九三八年五月現在)



内容見本(縮小しています)

ソヴェト」連邦 最高国家権力機関及行政機関

(一九三八年五月現在)



第3巻第8号(一九三八年八月)より

① 大東亜戦争二伴フ我力人的国力ノ検討 高崎隆治 編・解説 ISBN4-8350-1001-9 3,500円	⑪ 俘虜二関スル諸法規類聚 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1011-6 9,500円	⑲ 戦時下国民栄養の現況調査報告書 清水勝嘉 編・解説 ISBN4-8350-1021-3 5,000円
② ババル島事件関係書類 武富登巳男 編・解説 ISBN4-8350-1002-7 2,500円	⑫ 軍律会議関係資料 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1012-4 3,500円	⑳ 満州移民拓務局原資料 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1022-1 7,500円
③ 沖繩秘密戦に関する資料 大城将保 編・解説 ISBN4-8350-1003-5 3,500円	⑬ 華中宣撫工作資料 井上久士 編・解説 ISBN4-8350-1013-2 4,500円	㉑ 国民義勇隊関係資料 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1023-X 3,500円
④ 満州事変における憲兵隊の行動に関する資料 岡部牧夫 編・解説 ISBN4-8350-1004-3 5,000円	⑭ 思想彙報(上・下) 吉田 裕 編・解説 全2冊揃 ISBN4-8350-1014-0 18,000円	㉒ 久留米師団召集徴発雇用書類 武富登巳男 編・解説 ISBN4-8350-1023-X 4,000円
⑤ 東京裁判 大山文雄関係資料 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1005-1 3,500円	⑮ 朝鮮軍概要史 宮田節子 編・解説 ISBN4-8350-1015-9 5,500円	㉓ 台湾霧社事件軍事関係資料 香山明哲 編・解説 ISBN4-8350-1025-6 1,800円
⑥ 高等外事月報 宮田節子 編・解説 ISBN4-8350-1006-X 9,500円	⑯ 俘虜取扱に関する諸外国からの抗議集 内海愛子 編・解説 ISBN4-8350-1016-7 9,500円	㉔ 初期の満州国軍に関する資料 岡部牧夫 編・解説 ISBN4-8350-1026-4 1,800円
⑦ 大東亜縦貫鉄道関係書類 原田勝正 編・解説 ISBN4-8350-1007-8 3,500円	⑰ 在満軍法会議處刑特殊犯罪集 山中 恒 編・解説 ISBN4-8350-1017-5 3,000円	㉕ 陸海軍省法務局長巡察報告 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1027-2 4,500円
⑧ 重慶中国国民党在港秘密機関検挙状況 姫田光義 編・解説 ISBN4-8350-1008-6 9,500円	⑱ 毒ガス戦関係資料 栗屋憲太郎・吉見義明 編・解説 ISBN4-8350-1018-3 9,500円	㉖ 朝鮮思想運動概況 宮田節子 編・解説 ISBN4-8350-1028-0 14,000円
⑨ 支那事変 動員概史 大東亜戦争間 大江志乃夫 編・解説 ISBN4-8350-1009-4 12,000円	⑲ 台湾島内情報・本島人の動向 香山明哲 編・解説 ISBN4-8350-1019-1 4,000円	㉗ 七三部隊作成資料 田中明・松村高夫 編・解説 ISBN4-8350-1029-9 14,500円
⑩ 戦争栄養失調症関係資料 清水勝嘉 編・解説 ISBN4-8350-1010-8 4,000円	㉑ 海軍法務資料 馬場東作綴 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1020-5 4,500円	㉘ 外邦兵要地凶整備誌 藤原 彰 編・解説 ISBN4-8350-1030-2 1,800円

① 毒ガス戦教育関係資料 内藤裕史 編・解説 ISBN4-8350-1031-0 18,000円	⑪ 二反長音蔵・アヘン関係資料 倉橋正直 編・解説 ISBN4-8350-1041-8 8,500円	⑲ ベンゾイン不正輸入事件関係資料 倉橋正直 編・解説 ISBN4-8350-1430-8 8,500円
② 毒ガス戦関係資料Ⅱ 吉見義明・松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1032-9 18,000円	⑫ 東亜諸民族の死亡に関する衛生統計的調査 金子 俊 編・解説 ISBN4-8350-1042-6 12,000円	㉒ 終戦後の法令制定・改正・廃止経過一覽 茶園義男 編・解説 ISBN4-8350-1431-6 9,800円
③ 思想彙報Ⅱ 荻野富士夫 編・解説 ISBN4-8350-1033-7 15,000円	⑬ 関東軍参謀部作成 総動員関係調査資料 永島勝介・安富 歩 編・解説 ISBN4-8350-1043-4 8,500円	㉓ 陸軍軍医学校防疫研究報告 全8冊・別冊1 常石敬一 解説 総9冊揃 ISBN4-8350-5375-3 161,000円
④ 戦時下国民栄養の現況調査報告書(昭和18年) 金子 俊 編・解説 ISBN4-8350-1034-5 15,000円	⑭ 軍律法廷審判例集 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1044-2 8,500円	㉔ 山東出兵時における「第三師団特種研究記事」 福島幸宏 編・解説 ISBN4-8350-4750-8 28,000円
⑤ 第次上海事変における第九師団軍医部「陣中日誌」 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1035-3 18,000円	⑮ 南方方面海軍資料 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1045-0 9,500円	㉕ 宣撫月報 全8冊・別冊1 山本武利 解説 総9冊揃 ISBN4-8350-5645-0 145,000円
⑥ 盧溝橋事件期支那駐屯憲兵隊 重松関係文書 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1036-1 9,000円	⑯ 陸軍に於ける花柳病 早川紀代 編・解説 ISBN4-8350-1426-1 9,500円	〔以後、新資料発見次第、逐次刊行予定〕
⑦ 韓国併合始末 関係資料 海野福寿 編・解説 ISBN4-8350-1037-X 9,500円	⑰ 毒ガス戦教育関係資料Ⅱ 内藤裕史 編・解説 ISBN4-8350-1426-X 8,500円	
⑧ 軍隊警察の対立と憲兵司令部 重松関係文書Ⅱ 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1038-8 9,000円	⑱ 十五年戦争末期国内憲兵分遣隊報告 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1427-8 9,000円	
⑨ 南方地域現地自活教本 野田勝久 編・解説 ISBN4-8350-1039-6 8,500円	⑲ 日本占領下上海における日中要人インタビューの記録 高綱博文 編・解説 ISBN4-8350-1428-6 9,500円	
⑩ 戦後の皇軍 重松憲兵少佐綴 北 博昭 編・解説 ISBN4-8350-1040-X 9,000円	㉑ 満洲国軍ノ現況 松野誠也 編・解説 ISBN4-8350-1429-4 18,000円	

宣撫月報

全8冊・別冊1

概要

体裁——B4判・上製・函入・四面付・総約3、400頁

収録内容——第2巻1号(一九三七年二月)～通巻73号(一九四五年一月)の内、計58号分を収録。

※欠号について——「宣撫月報」は計73号分発行されたと思われるが、その内の第1巻1号(一九三六年七月)～6号、第2巻3号～5・9～11号および第3巻第1・4・6号の計15号分は未見のため未収録です。

原本提供——大分大学経済研究所・専修大学図書館・東京大学社会情報研究所・山本武利氏 ほか

別冊——解説Ⅱ山本武利(早稲田大学教授)・総目次・索引
※別冊のみ分売可Ⅱ1,000円十税 ISBN4-8350-5654-X

推薦——荻野富士夫・佐藤卓己・西田 勝

- 配本
- 第1回配本Ⅱ第1冊(06年1月)本体価格19,000円十税 ISBN4-8350-5646-9
 - 第2回配本Ⅱ第2冊(06年3月)本体価格18,000円十税 ISBN4-8350-5647-7
 - 第3回配本Ⅱ第3冊(06年5月)本体価格18,000円十税 ISBN4-8350-5648-5
 - 第4回配本Ⅱ第4冊(06年7月)本体価格18,000円十税 ISBN4-8350-5649-3
 - 第5回配本Ⅱ第5冊(06年9月)本体価格18,000円十税 ISBN4-8350-5650-7
 - 第6回配本Ⅱ第6冊(06年11月)本体価格18,000円十税 ISBN4-8350-5651-5
 - 第7回配本Ⅱ第7冊(07年1月)本体価格18,000円十税 ISBN4-8350-5652-3
 - 第8回配本Ⅱ第8冊(07年3月)本体価格18,000円十税 ISBN4-8350-5653-1

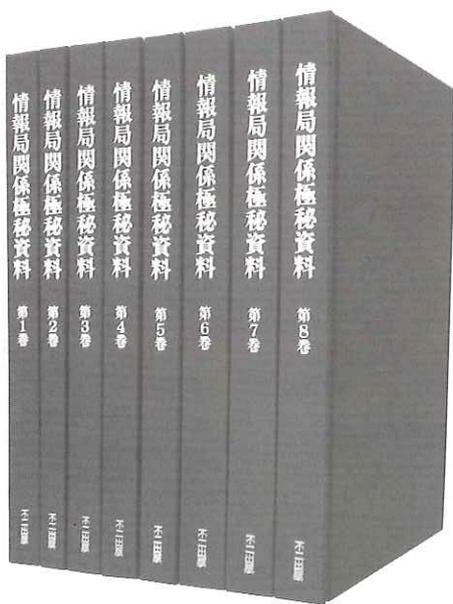
揃価——全8冊・別冊1——145,000円十税

●関連図書〔復刻版〕のご案内

情報局関係極秘資料全8巻

戦前の日本の情報機関の創設は、昭和七年外務省に「情報委員会」が設置され、その後、昭和十一年「同盟通信社」と「内閣情報委員会」の設立に始まる。のち、「内閣情報委員会」は「内閣情報部」「情報局」と改組発展し、十五年戦争をになう重要な情報・宣伝機関となる。この間の情報局等の刊行物は膨大な量と種類があるが、その全容は未だはつきりしない。本書は、内閣情報委員会・内閣情報部および情報局の刊行物のうち、極秘(あるいは秘)扱いのものを出来る限り収集し復刻。日本近現代史・メディア史の基本資料として刊行するものである。

- ・推薦Ⅱ有山輝雄・内川芳美・山本武利
- ・解説(荻野富士夫)付き
- ・A4判・上製・総2,730頁
- ・揃価240,000円十税
- ・03年5月～9月配本完結〔編集復刻版〕



表示価格は全て税別

不二出版

〒113-0023 東京都文京区向丘1-11-11
TEL 03-3811-2443
FAX 03-3811-2464
振替 001601194084